

第2類医薬品

ツムラの漢方内服液

発熱、さむけ、
ふしぶしの痛むかぜに

麻黄湯

まおうとう

第2類医薬品



30mL×3本(1日分)



ツムラ



ツムラの漢方内服液

発熱、さむけ、
ふしぶしの痛むかぜに

麻黄湯

まおうとう

第2類医薬品



ツムラ

30mL



ツムラの漢方内服液

発熱、さむけ、
ふしぶしの痛むかぜに

麻黄湯

まおうとう

第2類医薬品



ツムラ

30mL

押してあける

第2類医薬品

【販売名】ツムラ漢方内服液麻黄湯

△【使用上の注意】

☒【してはいけないこと】

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。

2. 短期間の服用にとどめ、連用しないでください

■【相談すること】

1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談してください(1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦または妊娠していると思われる人。(3) 胃腸の弱い人。(4) 発汗傾向の著しい人。(5) 高齢者。(6) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。(7) 次の症状のある人。むくみ、排尿困難(8) 次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この製品(箱)を持って医師または薬剤師に相談してください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
消化器	悪心、食欲不振、胃部不快感
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
その他	発汗過多、全身脱力感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合。

【用法・用量】

次の量を、食前または食間によく振ってから服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1本	3回
15歳未満	服用しないでください	

注) 食間とは「食事と食事の間」のことで、たとえば朝食と昼食の間のこととします。

食事中に服用するというものではありません。

＜用法・用量に関連する注意＞

(1) 用法・用量を厳守してください。

(2) 本剤は、本質的に沈殿を含んでいますので、服用前によく振ってから服用してください。

【保管および取り扱い上の注意】

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 誤用をさけ、品質を保持するために他の容器に入れかえないでください。(4) 使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。(5) ビンをあけたら飲みきってください。(6) ビンをあけたまま保存しないでください。

【包装】30mL×3本入(1日分)

発売元



株式会社 ツムラ

東京都港区赤坂 2-17-11

〒107-8521

お客様相談窓口

☎ 0120-329-930

http://www.tsumura.co.jp/

製造販売元 新生薬品工業株式会社
奈良県高市郡高取町清水谷1269

【効能・効果】

風邪のひきはじめで、さむけがして発熱、頭痛があり、身体のふしふしが痛い場合の次の諸症：感冒、鼻かぜ

【成分・分量】

本品1日量90mL(30mL×3本)中、以下の生薬より抽出した麻黄湯エキス81mLを含有します。

日局マオウ……………5.0g

日局キョウニン……………5.0g

日局ケイヒ……………4.0g

日局カンゾウ……………1.5g

添加物として白糖、パラベン、香料(エタノール、グリセリン、プロピレングリコール、メントールを含む)を含有します。

副作用被害救済制度
☎0120-149-931



：箱

金 属 ： キャップ

ガ ラ ス ： 瓶

捨てる際は、自治体で指定された方法で廃棄してください。